

団体名【公益社団法人千葉県サッカー協会】

① 沿革（平成10年からの歩み）

千葉県体育協会五十年誌にも記載されているが、平成9年3月1日に行われた千葉県サッカー協会（以下、本協会という）創立50周年記念祝賀会において

- 1 ツインタワーのより一層の活性化
- 2 各代表チームの全国大会における優勝
- 3 法人化を目指した協会組織の強化

の3点が今後の取り組みとして提示された。

1のツインタワーとはJリーグのジェフユナイテッド市原（（平成17年よりジェフユナイテッド市原・千葉）以下、ジェフという）と柏レイソル（以下、レイソルという）の2チームのことであり、現在はJ1リーグにレイソル、J2リーグのジェフが所属している。平成7年にレイソルが新たにJリーグに昇格した際に始まった、Jリーグのリーグ戦開幕前に行われる千葉ダービーマッチ『ちばぎんカップ』は、過去2回、平成27年レイソルのアジアチャンピオンズリーグ予備選出場のために、また、令和3年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった以外は毎年実施され、多くのサッカーファンに親しまれている。

平成17年10月に千葉市中央区蘇我に建設されたフクダ電子アリーナではジェフのホームゲームだけではなく、全国高校サッカー選手権会場として、そして、平成16年11月には「なでしこ日本対オーストラリア女子代表」のナショナルマッチが開催されるようになった。ジェフは現在J2に所属しているがJ1昇格が待ち望まれている。

また、トップチームの活躍は他のカテゴリーでも見られる。

平成19年開幕のFリーグ（日本フットサルリーグ）ではバルドルール浦安が開幕当初より所属している。

さらに、日本初の女子プロサッカーリーグ『WEリーグ』にはジェフユナイテッド市原・千葉レディースが参入しており、これらのチームのさらなる活躍が期待されている。

2の登録チームの全国大会での活躍もめざましいものがある。成績欄のとおり、平成10年度以降、年代別大会において多くの優勝チームを輩出している。

中でも、平成11年度は県立八千代高等学校が全国高等学校総合体育大会、船橋市立船橋高等学校が第78回全国高等学校サッカー選手権大会、千葉選抜が第54回国民体育大会（少年男子の部）を制覇、異なるチームでの高校三冠の達成は「サッカー王国・千葉」の名を全国に轟かせた特筆すべき出来事である。

平成8年度における協会予算が1億6千万を超え登録チーム1,000、登録人43,500人が所属する組織となった本協会にとって3の法人格の取得は必須の事項であった。また、日本サッカー協会（以下、JFAという）は全都道府県協会の法人格取得を求めており、本協会の法人化への動きも平成11年度頃より準備に入ったが設立まではまだ数年の年月を要した。

JFA並びに県教育委員会へのヒヤリング、財団法人を取得していた東京都サッカー協会、社団法人を取得していた神奈川県サッカー協会を始め、すでに法人格を取得していた各県協会の資料を求めて検討した結果、本協会はたくさんの人により成り立っていることから社団法人を目指すことがふさわしいとし、定款等の検討、必要書類の作成、各種別

委員会への説明等を行い、平成17年2月19日法人化の為に任意団体千葉県サッカー協合理事会・評議委員会の開催、平成17年3月4日に設立発起人会議、3月12日設立総会を経て3月14日県教育委員会へ申請書を提出、4月1日に千葉県教育委員会より認可され、『社団法人千葉県サッカー協会』となった。(4月13日法務局への登記完了)

平成18年8月にはそれまで千葉市若葉区殿台にあった事務局を千葉市中央区中央に移転した。(平成27年には4階にあった事務局が手狭となったため同じビルの1階に移転し現在に至っている。)

その後、国の公益法人制度改革に伴い公益社団法人を目指すこととし、平成23年8月26日法人移行に伴う理事会、9月17日に社総会を実施し、10月28日に千葉県知事に移行認定申請書を提出、平成24年3月19日に千葉県知事より認定書が発行され、平成24年4月1日より、登記も終了し『公益社団法人千葉県サッカー協会』として新たなスタートをきった。

また、この間、平成19年2月25日に行われた協会創立60周年祝賀会において、「千葉県サッカー協会のグラウンドを持つ」という新たな提言がなされた。

平成8年12月25日、2002年ワールドカップ国内開催地の決定に際し、千葉県は15の国内開催候補地となっていたものの10の最終開催地には選出されなかった。本協会所有のグラウンドとして整備が期待されたワールドカップスタジアム建設予定地は市原市に確保されていたが、開催地に選出されなかったことにより、計画は白紙となっていた。

本協会は平成17年「2005千葉きらめき総体」、平成22年「ゆめ半島千葉国体・ゆめ半島千葉大会」の開催に当たり開催市町村とし

て市原市の単独開催を希望した。市原市にも市原緑地運動公園臨海競技場(現ゼットエーオリプリスタジアム)を中心として、ワールドカップスタジアム建設予定地の整備も含め開催を受け入れていただいた。この建設予定地は、芝生グラウンド3面と「2002FIFAワールドカップ記念事業助成事業」によるJFA助成金を活用した人工芝グラウンド1面の4面を擁する「市原スポレクパーク」として、平成17年7月24日にオープニングセレモニーが実施され8月1日からの「2005千葉きらめき総体」そして平成22年の「ゆめ半島千葉国体」で使用された。しかしながら、素晴らしい芝生のグラウンドはできたものの、本協会の所有するものではなく、平成19年の提言が満たされるものではなかった。

一方、JFAはJFA100周年記念事業の一環として、主に日本代表強化のための拠点施設を想定し、何か所の候補地の中からアクセスの良い幕張新都心に天然芝ピッチ2面・人工芝ピッチ2面の「高円宮記念JFA夢フィールド」を建設することとなり、その人工芝グラウンド1面を「JFA夢フィールド千葉県フットボールセンター」として千葉県サッカー協会が整備・運営することとなり令和2年4月に竣工した。現在のところ夜間照明が整備されていないが令和4年1月には夜間照明が整備される予定であり、千葉県サッカーの活動拠点としてその重要性は、計り知れないものがある。平成19年の提言の際は、皆「それはあった方が良かったが、でも」と思っていた夢が多くの皆様のご尽力により現実のものとなった。

・平成11年からの2002FIFAワールドカップ事前キャンプ地誘致活動。

・平成15年新たにキッズ委員会(幼児期や小学校低中学年代層)が立ち上がり、ユース

リーダー（高校生年代）を活用した新たな取り組みの開始。

・「ゆめ半島千葉大会」開催に際し平成17年より始めた千葉県知的障がい者サッカー連盟の支援とキッズ委員会の活動を参考とした中・高校生との交流活動並びに平成30年度からの千葉『ともに暮らす』フットボール協会支援。

・平成17年開催の「千葉きらめき総体」と平成22年開催の「ゆめ半島千葉国体・夢半島千葉大会」という2つの大きな全国規模の大会準備と運営。

・そして何よりも日々行われている各種別の県内・関東・全国各大会等の運営とりわけ2、3、4、女子各種別年代のリーグ戦による大会

・審判・指導者の育成事業の充実

と実施してきたことは数多くあり、今後も続くであろう。

新型コロナウイルスの影響により現在は様々な活動が制限されているが、この感染症が治まった際にはスポーツ活動がいかに我々にとって必要且つ重要なものが再認識されるものと思われる。

平成28年の協会定款細則変更により理事は就任時満60歳未満、会長・副会長は就任時満70歳未満という年齢制限を設けた。新たな人材、新たな発想が求められている。過去の活動に捕らわれることなく新たな発想による活動が次世代の若い方々によってなされることを期待する。

②組織

(1) 歴代役員（平成10年以降）

平9～16

会長 倉田寛之 理事長 梶原由紀夫

平17～24

会長 倉田寛之 専務理事 中臺由紀夫
平25～27

会長 倉田寛之 専務理事 大野辰巳
平28・29

会長 青木克己 副会長兼専務理事 福永廣幸
平30・令元

会長 福永廣幸 専務理事 河瀬 淳

(2) 現役員

会 長 片岡道夫

副会長 鈴木雄二 川崎浩祐

名誉会長 福永廣幸

顧問 浪越信男 森川嗣夫 大野辰巳
中臺由紀夫

専務理事 河瀬 淳

常務理事 戸村和久 中西聡太

理事 山本哲也 宮本 毅 堀川栄多
大久保毅一 清水祥太郎

小出崎基晴 水庫祥元

土屋 敢 沖田健次 石井昭次

小川智之 山越康義 米本清次

片桐正広 長谷川治夫

川嶋幸夫 斉藤大輔 石渡敏温

小田切琢也 山岸佐知子

三上尚子 北本綾子

監事 菅浦義治 小嶋健史

③成績

(JFA 主催全国大会 歴代優勝チーム)

【平成10年度】

・船橋市立船橋高等学校

全国高等学校総合体育大会サッカー競技

- ・千葉選抜（少年）
第 53 回国民体育大会サッカー競技
- ・ジェフユナイテッド市原ジュニアユース
第 22 回日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会
- ・日興証券ドリームレディース
第 10 回 L リーグ
- ・読売日本サッカークラブレスチ
第 4 回全日本ジュニアユースフットサル大会

【平成 11 年度】

- ・柏レイソル
J リーグヤマザキナビスコカップ
- ・県立八千代高等学校
全国高等学校総合体育大会サッカー競技
- ・船橋市立船橋高等学校
第 78 回全国高等学校サッカー選手権大会
- ・千葉県選抜（少年）
第 54 回国民体育大会サッカー競技

【平成 12 年度】

- ・千葉市立幸町第二中学校
第 31 回全国中学校サッカー大会

【平成 13 年度】

- ・船橋市立船橋高等学校
全国高等学校総合体育大会サッカー競技

【平成 14 年度】

- ・船橋市立船橋高等学校
第 81 回全国高等学校サッカー選手権大会
- ・千葉県選抜（少年）
第 57 回国民体育大会サッカー競技
- ・柏レイソルユース U-15

- 第 17 回日本クラブユース（U-15）サッカー選手権大会

【平成 15 年度】

- ・船橋市立船橋高等学校
高円宮杯全日本ユース（U-18）サッカー選手権大会

【平成 16 年度】

- ・柏レイソルユース U-15
ナイキプレミアカップジャパン 2004
- ・柏レイソルユース U-12
第 28 回全日本少年サッカー大会

【平成 17 年度】

- ・ジェフユナイテッド市原・千葉
J リーグヤマザキナビスコカップ
- ・千葉県選抜（少年）
第 60 回国民体育大会サッカー競技
- ・習志野 SPARROWS
第 17 回全国レディースサッカー大会（レディースエイト）

- ・PREDATORFUTSAL

- 第 11 回全日本フットサル選手権大会

【平成 18 年度】

- ・ジェフユナイテッド市原・千葉
J リーグヤマザキナビスコカップ
- ・千葉県選抜（少年男子）

- 第 61 回国民体育大会

- ・FC クラッキス松戸
第 12 回全日本ユース（U-15）フットサル大会

【平成 19 年度】

- ・千葉県選抜（成年男子）

第 62 回国民体育大会サッカー競技

- ・船橋市立船橋高等学校

全国高等学校総合体育大会サッカー競技

- ・流通経済大学柏高等学校

高円宮杯全日本ユース (U-18) サッカー選手権大会

第 86 回全国高等学校サッカー選手権大会

- ・習志野 S P A R R O W S

第 17 回全国レディースサッカー大会

(レディースエイト)

- ・バルドラール浦安

第 13 回全日本フットサル選手権大会

【平成 20 年度】

- ・船橋市立船橋高等学校

全国高等学校総合体育大会サッカー競技

- ・流通経済大学柏高等学校

全国高等学校総合体育大会サッカー競技

- ・柏イーグルス TOR'82

チビリンピック小学生 8 人制サッカー 2008

【平成 21 年度】

- ・柏レイソル U-12

第 19 回全日本少年フットサル大会

【平成 22 年度】

- ・柏レイソル

J リーグ ディビジョン 2

- ・千葉県選抜

第 65 回国民体育大会サッカー競技

天皇杯 (男女総合) 皇后杯 (女子総合)

千葉県選抜 (成年女子)

- ・船橋市立船橋高等学校

全国高等学校総合体育大会サッカー競技

- ・千葉四十雀サッカークラブ 60

第 10 回全国シニア (0-60) サッカー大会

- ・三井千葉 SC

第 16 回全日本ユース (U-15) フットサル大会

【平成 23 年度】

- ・千葉県選抜

第 66 回国民体育大会サッカー競技

天皇杯 (男女総合)

千葉県選抜 (少年男子)

- ・柏レイソル

J リーグ ディビジョン 1

- ・VONDS 市原

第 18 回全国クラブチームサッカー選手権大会

- ・船橋市立船橋高等学校

第 90 回全国高等学校サッカー選手権大会

- ・柏レイソル U-12

第 35 回全日本少年サッカー大会

【平成 24 年度】

- ・柏レイソル

第 92 回天皇杯全日本サッカー選手権大会

- ・柏レイソル U-18

第 36 回日本クラブユース (U-18) サッカー選手権大会

- ・順天堂大学カジル

第 8 回全日本大学フットサル大会

【平成 25 年度】

- ・柏レイソル

J リーグカップ

・船橋市立船橋高等学校
全国高等学校総合体育大会サッカー競技

・流通経済大学柏高等学校
高円宮杯（U-18）サッカーリーグ

・順天堂大学ガジル
第9回全日本大学フットサル選手権大会

【平成28年度】

・船橋市立船橋高等学校
全国高等学校総合体育大会サッカー競技

・順天堂大学ガジル
第12回全日本大学フットサル大会

【平成29年度】

・流通経済大学柏高等学校
全国高等学校総合体育大会サッカー競技

・ジェフユナイテッド市原・千葉レディース
第21回全日本女子ユース（U-18）サッカー選手権大会

・千葉四十雀サッカークラブ60
第17回全国シニア（O-60）サッカー大会

・順天堂大学カジル
第13回全日本大学フットサル大会

・千葉県選抜（女子）
第72回国民体育大会サッカー競技

【平成30年度】

・順天堂大学カジル
第14回全日本大学フットサル大会

【令和元年度】

・ジェフユナイテッド市原・千葉レディース
第23回全日本U-18女子サッカー選手権大会

・バルドラール浦安ラス・ボニータス
第16回全日本女子フットサル選手権大会

【令和2年度】

・習志野シティFC
第44回全国クラブチームサッカー選手権大会

・帝京平成大学
第29回全日本大学女子サッカー選手権大会

・トルエーラ柏
第26回全日本フットサル選手権大会

【令和3年度】

・FC船橋
第9回全日本（O-40）サッカー大会